

一般質問通告者一覧表（9月9日）

令和8年第3回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
1	谷 晴美 (一問一答) 発言時間30分	1	外国人政策について	
		(1)	外国人に繋がる子どもの日本語教育について	出入国在留管理庁が実施した令和7年度在留外国人に対する基礎調査の結果が公表された。その調査結果をもとに実態を把握し、環境整備に生かすことが求められている。とりわけ日本語教育環境の充実が多文化共生社会の実現には重要であるとする。
		ア	外国人児童生徒等がサンスクエアにある日本語学習教室へ通うための子どもの移動支援や指導者の配置支援等、市の支援状況について伺う。	
		イ	外国人児童生徒等に対する日本語学習教室についての移動支援や指導者配置にかかる国や市の財政支援の状況について伺う。	
		ウ	外国籍の教員等の採用を含めた、正規職員の増員が必要と考えるが市の見解を伺う。	
		エ	教育を受けるためのインターナショナルスクールや夜間中学通学ニーズに対する選択肢の確保策について市の考えを伺う。	
		2	PFAS汚染問題への対応について	
		(1)	モニタリング調査結果等について	米軍川上弾薬庫周辺におけるPFAS汚染への対応が急がれている中、これまで市が実施してきたモニタリング調査結果を踏まえ市としてきちんと対応すべきである。
		ア	これまで市が実施してきたモニタリング調査結果及びその分析状況について伺う。	
		イ	住民との懇談会を開催されているが、住民から聴取した意見の内容及びその対応状況について伺う。	
		ウ	PFAS血中濃度検査を実施されている例もあるが、特にエコチル調査（環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査」）の実施を望む保護者の声に耳を傾けるべきと考えるが市の見解を伺う。	
		3	駅や道路等インフラ整備について	
		(1)	八本松地域の道路及び駅関連施設の改修等について	半導体メーカーの投資の影響で、渋滞や駅利用者の増加、工事関係車両の増加による道路破損など、市民生活への影響は今後ますます増大することが予想される。舗装維持修繕計画の拡充見直しによる早期修繕対応や駅関連施設の改修の必要性を感じている。
		ア	渋滞の現状を踏まえ、交通量調査を継続的に実施する計画が必要だと感じているが今後の方針を伺う。	
		イ	重量のある車や通勤時の車両台数の増加に対応した舗装維持修繕計画にするべきと考えるが、財源確保について市の考えを伺う。	
		ウ	独自で実施した市民アンケートでは、八本松駅改札出口にあるJR所有のトイレを和式から洋式にすべきとの意見があった。長年、改修されておらず、利用者の満足度も低いためすぐに対応すべきと考える。今後JRと連携した修繕対応やJRに要望をすべきと考えるが市の見解を伺う。	
		4	酒蔵の煙突耐震化計画とまちづくりについて	
		(1)	酒蔵の煙突のある景観の保全等について	西条駅周辺の高層ビル群が酒蔵の煙突のある景観を壊し、将来的には煙突がビル群に隠れて見えなくなるのではないかと危惧している。
		ア	酒蔵地区の景観について、これまでの検証と今後の方針を伺う。	
		イ	住宅の高さ規制に乗り出して、酒蔵の煙突がある景観を守ることのできるまちづくりに着手すべきであり、住民への理解促進は市が率先して対応すべきと考えるが考えを伺う。	
		ウ	景観保全のために現行の耐震改修補助制度の充実と住宅改修制度を創設してはどうかと考えるが市の見解を伺う。	

一般質問通告者一覧表（9月9日）

令和8年第3回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
2	山田 学 (一括質問) 発言時間30分	1	地域農業について	
		(1)	環境と調和した農業を支える需要づくりについて	国は令和6年、食料・農業・農村基本法を25年ぶりに改正し、食料安全保障と、環境と調和のとれた農業への転換を新たな柱に据えた。農業の担い手の減少は有機農業に限らず慣行農業も同様であり、農業を続ける動機となる確かな需要をいかにつくるかが問われている。環境と調和した農業については、供給が確保できないために公共調達での活用が進まない面があるが、これは市が確実な需要を明確に示していないために供給が育たない面もあると考えられる。需要の創出は、環境負荷の小さい農業への転換と新たな担い手の確保につながるものである。
		ア	学校給食をはじめ、市が直接関与できる公共調達を、環境と調和した農業を育てる需要として位置づけ、市が需要をつくることで供給と新たな担い手を後押しする考えについて、市の見解を伺う。	
		イ	有機や減農薬といった環境に配慮した農法を消費者が選択できるよう評価、表示するものの活用について、市の見解を伺う。	
		(2)	有機農業の推進エリアの具体化について	令和7年12月定例会における一般質問に対し、市は有機農業の推進について、市域全体ではなく先進的な農業者が集まる地域を「推進エリア」として区域指定し、国に提案したい旨を答弁した。
		ア	「区域指定を国に提案したい」との答弁以降の具体化の進捗と、今後の見通しについて市の見解を伺う。	
		(3)	耕作放棄地を活かして人を呼び込む取組について	本市の耕作放棄地対策は、農地中間管理事業など農地の保全・再生を中心に進められている。一方で農地を活かして人を呼び込むという視点からの取組は、これからの課題ではないかと考えられる。国は令和6年の基本法改正において、農村の振興と関係人口の創出を新たに位置づけ、農山漁村振興交付金による農泊など農地を体験・教育・滞在の場として活かす取組を後押ししている。
		ア	耕作放棄地を農地として保全、再生することにとどめず、体験・教育・滞在の場として活かし、人を呼び込む方向に今後どのように取り組んでいく考えか、市の見解を伺う。	
		2	和 문화 共生社会について	
		(1)	外国人市民の現状と受入れ体制について	本市に暮らす外国人市民はこの10年でおおよそ2倍に増加し、1万人を超えた。その内訳は技能実習、特定技能として働く人、留学生や高度人材、その家族など多様であり、日本語の習得状況も地域への定着の度合いも一様ではない。令和9年4月には技能実習に代わる育成就労制度が施行され、外国人材の受入れは日本語能力を段階的な要件とする新たな段階に入る。また就労や留学を経て定住する市民も増えており、生活習慣や宗教の違いに起因する課題も、これまで以上に現実のものとなっている。
		ア	市は外国人市民を一括りに捉えるのではなく、技能実習、特定技能、留学、高度人材、家族滞在といった立場の違いを踏まえ、日本語の習得や地域への定着といった実態を把握し、それぞれに応じた支援や対応を進めているか、市の見解を伺う。	
		イ	育成就労制度は外国人本人に日本語能力を求める。今後増加する外国人市民に対し、本市の日本語を学ぶ機会や生活支援は足りているか、市の見解を伺う。	
		ウ	外国人市民の定住化が進む中、全国では土葬をめぐる課題が生じている。市は土葬についてどのような考え・方針で臨むのか、市の見解を伺う。	
		(2)	第4次国際化推進プランの実効性について	第4次国際化推進プランの成果指標は、多文化共生に関する満足度など、市民の意識を測るものが中心である。一方、外国人市民が実際に日本語を身につけ、地域に参加できているか、納税や手続きは適正に行われているかといった生活の実態を測る指標や、それに対応する施策は講じられているのか。
		ア	プランの成果指標は満足度など「意識」を測るものが中心で、外国人市民が実際に日本語を身につけ地域に参加できているか、納税や手続きは適正か、といった「生活の実態」を測る指標は十分に位置づけられているか、市の見解を伺う。	
		イ	プランには外国人市民に日本のルールや制度を「伝える」施策はあるが、税の未納や手続きの未了など、実際に生じている問題に「対応する」施策は講じられているのか、市の見解を伺う。	

一般質問通告者一覧表（9月9日）

令和8年第3回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
3	向井 哲浩 (一括質問)	1	本市における公契約及び指定管理者制度について	(1) 公契約の現状と課題について 国や地方公共団体などの公的機関が、民間企業・事業者等と締結する契約を「公契約」という。 公契約には、公共施設の建設工事、道路・公園の維持管理、学校給食の委託、清掃・警備業務、情報システムの開発・運用など、住民生活に関わる様々な業務が含まれている。 そこで本市における、業務委託の現状と課題について伺う。
				ア 本市における業務委託の現状について、委託している主な業務の種類及び件数はどの程度か伺う。
				イ 業務委託の契約期間について、単年度契約を基本としているのか。また、複数年度契約している業務にはどのようなものがあるのか伺う。
				ウ 業務委託について、契約期間を設定する際には、どのような考え方や基準に基づいて決定しているのか伺う。
				エ 業務の性質によっては、契約期間の更新を設定することで、安定した人材の確保や業務の継続性、サービスの質の向上につながると考えるが、本市において、契約を更新することについてどのように考えているのか伺う。
				(2) 指定管理者制度の現状と課題について 指定管理者制度は、公の施設について、民間事業者等のノウハウや能力を活用し、施設の効率的・効果的な管理運営や住民サービスの向上を図る制度である。 本市においても、指定管理者制度を活用し、施設の管理運営や住民サービスの提供を行っている。 そこで業務委託との違いも踏まえ、指定管理者制度の現状と課題について伺う。
				ア 本市における指定管理者制度の導入状況及び指定管理者制度を導入することによる効果についてどのように認識しているのか伺う。
				イ 指定管理者制度における指定期間について、5年程度の複数年度の指定期間を設定することが多いと思われるが、指定期間を設定する際、人材の確保、ノウハウの蓄積、サービスの継続性、事業者による設備・機材等への投資などをどのように考慮しているのか伺う。
				ウ 本市の指定管理者制度が導入され、様々な企業・団体などが参入されたと思うが、成果・評価から改善すべき項目があればその内容について伺う。
		2	次世代学園都市構想の推進について	(1) 2050年を見据えた展開について 重工業を主力としてきた広島。その産業構造を変え、2050年の未来を切り開く挑戦が、いま東広島から始まっている。 本市は、米国大手企業の巨額投資を起点に、半導体の裾野を広げ、関連産業と世界の人材を呼び込む「半導体城下町」へ、さらに、次世代学園都市構想を軸に、暮らし・教育・研究・産業が融合するまちを築き、世界から人と企業が集う「ローカルハブ」を目指している。 産業や人材、そして、都市のあり方を変えていく。その先にある、2050年の広島の新たな成長を支える礎を、ここ東広島から築いていく。そんな大きな挑戦が、今ここから始まる。
				ア 半導体関連産業や大学・研究機関の集積により、国内外から多様な人材が集まってくることが想定される。こうした人材に「住みたい」と選ばれるために、どのような居住環境を整備しようとしているのか伺う。
				イ 次世代学園都市を実現するうえで、教育環境の整備は単なる学校施設の整備にとどまらず、広島大学をはじめとする市内大学や企業との連携を活かしながら、インターナショナルスクールの誘致や、本市が高美が丘小学校で展開しようとしている、公立校における英語を主体とした「グローバルクラス」など、国内外の人材が安心して子育てし、学ぶことのできる国際的な教育環境の整備にどのようなスケジュール感を持って臨もうとしているのか、課題も含めて見解を伺う。
				ウ 次世代学園都市実現のため、都市機能の充実が求められている中、コンベンション機能を含む都市型ホテルの立地が期待されているが、現段階でどのような進捗状況なのか伺う。
	発言時間30分			エ 人口・産業の集積に伴い交通量の更なる増加が見込まれる中、道路網について、どの道路を優先し、どのようなスケジュールで整備していくのか。また、道路の拡幅・整備だけに頼るのではなく、公共交通、自転車、BRTなどを組み合わせ、公共交通への転換によって交通需要そのものをコントロールするなど、将来の人口・産業集積を見据えた総合的な交通体系をどのように構築していくのか伺う。
				オ 本市が目指す「ローカルハブ」とは、具体的にどのような都市の姿を目指すのか。単なる企業や人口の集積ではなく、東広島から国内外の企業や市場と直接つながり、新たな産業や価値を生み出す都市とは、どのような状態を想定しているのか伺う。

一般質問通告者一覧表（9月9日）

令和8年第3回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
4	玉川 雅彦 (一括質問) 発言時間30分	1	本市における市民農園と今後の農業の関係について	
		(1)	本市における市民農園の現状について 一般に「市民農園」とは、サラリーマン家庭や都市住民の方々が、レクリエーションや生きがいづくり、児童・生徒の体験学習などの多様な目的で、小面積の農地を利用して野菜や花を育てるための農園のことをいいます。近年こうした市民農園が少しずつではありますが本市でもそれなりのニーズがあると考えました。 そこで私たち創志会では、7月28日・29日において、「静岡県富士市」・「神奈川県大和市」の2市を視察させていただきました。富士市では、市が管理している「富士市ファミリー農園」と民間で開設・管理している農園があります。市営の市民農園は7か所、民営の管理する市民農園は6か所開設されており、富士市ファミリー農園は一区画約20㎡～51㎡、平均15区画で、年間利用料は2,000円から8,200円となっています。また民営の市民農園では、一区画30㎡～183㎡と広さにかなり幅があり、区画数も2区画～149区画と、本格的な農業体験もできるようになっています。富士市ファミリー農園の使用料は土地の課税評価額等を基準に決められていますが、民営の農園では使用料について市は関与していないため、各農園ごとに異なったものとなっています。 続いて、大和市民農園についてです。大和市では、公設の大和市民農園が18施設開設されており、一区画の面積は20㎡で、年間の使用料は5,000円とされています。区画数は一施設当たり平均48区画となっています。また大和市では大和市民農園運営委員会を設立され、各農園から区画数により2名～3名を選出し、大和市と、大和市民農園運営委員会が連携し、市民農園の適正かつ円滑な管理運営を行われています。	
		ア	本市においても市営の「福富ふれあい農園」や、農事組合法人などが開設している民営の市民農園があると聞き及んでいるが、本市全体における市営・民営の市民農園などはどのくらいあるのか、またその経営状況、運営形態について詳細を伺う。	
		イ	富士市・大和市ともに一年契約で、富士市は3年、大和市は5年まで更新することができることとされており、新規の人を優先にほぼすべての人が入れ替えを行うこととしている。本市の市営・民営の市民農園の契約年数についてはどのような状況なのか、また利用者からのトラブルや苦情等の相談はあるのか、あればどのような内容なのか伺う。	
		ウ	富士市では、ファミリー農園開設の当初の目的の一つとして、遊休農地の有効活用が挙げられている。また大和市では「かながわホームファーマー事業」を通じて農業を志し、「かながわ農業サポーター」として耕作を目指し、大和市での就農を希望される方々がいる。本市においても、耕作放棄地や不作付地を活用した市民農園などへの再利用などを考えていく必要があると思うが認識を伺う。	
		2	本市における学校教育について	
		(1)	デジタル教科書の正式導入について デジタル教科書を正式な教科書にする改正学校教育法が本年6月10日、参院本会議で可決・成立しました。2030年度から順次、小中高校で使用が始まります。デジタル教科書は正式化されると、紙の教科書と同様に、義務教育段階の児童生徒に無償配布されます。国が現在、英語など一部教科で配布している「デジタル教科書」は紙と同じレイアウトで電子化したもので、「代替え教材」という位置づけでした。今後の教科書は、①紙「学習内容をすべて紙に掲載」②完全デジタル「全てデジタルに掲載」③ハイブリッド「紙とデジタルに分けて掲載、紙の教科書からQRコードでデジタルに飛ぶ形態」が想定されます。以上が教科書の3形態となり、そのうちから選択することとなります。 そこで読売新聞では公立小中学校などを所管する道府県庁所在市、政令市、中核市、東京23区の計109教委を対象にアンケート調査を実施しました。調査では、デジタル教科書を正式な教科書として学校現場で使うことに慎重な意見が多数を占めました。懸念点を10項目から複数回答で選んでもらったところ、最も多かったのは「視力の低下や姿勢の悪化など子供の健康面に影響する」で69%に上りました。次いで「災害や停電、大規模通信障害時に教科書が見られない」が67%だったなど、学習への影響を懸念する声が目立ちました。一方で期待する点では「英語等の音声読み上げ」を97%が選んでいます。望ましい教科書の形態を聞いたところ「紙が中心のハイブリッドでデジタルは補助的な使用にする」が50%で最多でした。	
		ア	本市においても、デジタル教科書の導入についての検討が始まっていると思う。どの教科書を使うかを選択するのは教育委員会が決めることとなると思うが、導入に当たっては、現場の職員の意識調査なども必要と考える。教育委員会としてどのような認識を持っておられるのか伺う。	
		イ	導入に当たっては、「紙」、「完全デジタル」、「ハイブリッド」の3形態があるが、現段階で本市ではどのような方向性を持っているのか見解を伺う。	
		ウ	視力の低下や、学ぶ時の姿勢の悪化など、子どもたちの健康面についてどのような認識を持っておられるのか見解を伺う。	

一般質問通告者一覧表（9月9日）

令和8年第3回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
5	落海 直哉 (一問一答) 発言時間30分	1	学校	学校の再編を契機とした公共施設の複合化について
		(1)	公共施設の再編に係る基本的な方針と全庁的な検討体制について	本市は令和7年度に公共施設マネジメント担当部門を設置し、市長をトップとする推進体制を整備した。第2次東広島市公共施設等総合管理計画は、改修・更新等の計画を同担当に集約し、全庁的な視点での調整・検討を行うとしている。一方、令和7年12月定例会では、対策が必要な学校プールは全小学校32施設、概算事業費は約64億円との答弁があった。この規模は公共施設全体の配置及び財政運営に関わるものであり、所管部局のみで完結する課題ではないと考える。なお、スポーツ庁が令和8年2月に各教育委員会へ通知した「持続可能な水泳授業の実施に向けた参考資料」は、学校プールの整備・管理は自治体の公共施設マネジメントの一環として、集約化・複合化も含めた中長期的な視点をもち、部局を横断した専門的な知見も踏まえて進めることが必要であるとしている。
		ア	既存の公共施設の統廃合・再編について、第2次東広島市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設マネジメントの観点から基本的な方針を問う。	
		イ	個別施設の再編に当たり、公共施設マネジメント部門としてどのように関与し、所管部局とどのような体制で検討を進めるのか問う。	
		ウ	国が求める部局を横断した検討について、学校プールの再編に関し、公共施設マネジメント担当と所管部局が連携する体制をどのように構築していく考えか問う。	
		(2)	学校プールの現況把握と費用の比較について	本市は令和6年9月定例会において、屋内プール等の対策について「費用対効果を十分に検討する必要がある」と答弁しており、約2年が経過している。32施設の更新に要するとされる約64億円は、豊栄小学校の改築費を全校に乗じた概算であり、方針判断の材料としては十分ではないと考える。また、屋外プールと屋内プールとでは、施設の仕様、更新の周期、建設費及び維持管理費の構造が大きく異なるためそれぞれについて比較検討する必要があると考える。
		ア	「費用対効果を十分に検討する必要がある」との答弁から約2年が経過しているが、その検討はどこまで進んでいるのか問う。	
		イ	小学校32施設のプールについて、築年数、劣化状況及び更新想定時期を、公共施設マネジメント担当としてどのように把握しているのか問う。	
		ウ	屋外プールと屋内プールとでは、更新、改築、新設、撤去及び維持管理に要する費用の構造が異なるが、現在の維持管理経費の把握状況を含め、これらを比較する場合、どのような考え方に基づいて行うべきと考えるか問う。	
		(3)	学校プールの集約と複合化による通年利用が可能な施設の整備について	学校プールを取り巻く環境は、多くの課題があるとする。屋外プールは年間の稼働が2か月程度に限られるうえ、近年は猛暑により授業が実施できない日も生じている。加えて、維持管理が教職員の負担となっており、過去の答弁では専門の指導員による指導は安全面・指導面で効果があるとの評価も示されている。「持続可能な水泳授業の実施に向けた参考資料」によれば、学校間での共同利用、公営・民間プールの活用等を視野に入れ、学校授業以外への活用の可能性、すなわち複合化・集約化も含めた検討を求めている。また学校施設環境改善交付金は、社会体育施設を他の公共施設と複合化・集約化する場合の補助率が3分の1から2分の1に引き上げられ、その要件は延床面積を既存施設より10%以上削減することなどであり、複合化の相手方には子育て支援施設が含まれるとしている。
		ア	屋外プールが抱える稼働期間、猛暑、維持管理の課題は、施設を屋内温水化することにより解決の方向が見えるものとする。学校プールの再編に当たり、屋内プール等への転換を選択肢として検討する考えはないか問う。	
		イ	屋内プール等は建設費及び維持管理費が屋外プールを上回るため、学校の利用のみを目的として整備することは現実的ではないと考える。当初から学校と市民が共同で利用する施設として整備すれば、通年にわたり幅広い市民が利用でき、第2次東広島市公共施設等総合管理計画が掲げる「最小の費用で最大の効果」にも資するものとするが、見解を問う。	
		ウ	さらに進めて、25メートル温水プール、可動床プール、幼児プール、大型屋内遊戯場、トレーニング室、多目的スタジオ、学習・交流スペース、子育て相談窓口を備え、屋外の公園、芝生広場及びインクルーシブ遊具と一体となった施設とすれば、水泳学習に加え、市民の健康増進、世代間交流、災害時の機能を併せ持つものとなる。こうした施設を再編の中核となる拠点施設として検討する考えはないか問う。	

一般質問通告者一覧表（９月９日）

令和８年第３回東広島市議会定例会

発言順	通 告 者	質 問 要 旨		
		項目	細目	詳細
5	落海 直哉 (一問一答) 発言時間30分	1	(4)	官民連携手法の比較検討について 本市の東広島市PFI導入基本指針(令和4年10月一部改訂)は、DB、DBO、PFI、民設民営等をPPPとして位置付け、建設費10億円超等の事業を検討対象とし、事業担当部局が「PPP／PFI手法簡易評価調書」を作成のうえ、経営戦略会議で導入可能性調査の実施案件を選定する手順を定めている。本市は令和元年に東広島市立小中学校空調設備整備事業をPFI方式により実施している。
				ア 学校プールの再編は、同指針が定める検討対象の規模要件に該当すると考えるが、同指針が定める手順に従い、「PPP／PFI手法簡易評価調書」を作成し、経営戦略会議において検討する考えはないか問う。
				イ 従来方式、DB、DBO、PFI、民設民営等をフラットに比較し、VFMを検証する導入可能性調査を実施する考えはないか問う。